

# THE ドラえもん展 TOKYO 2017

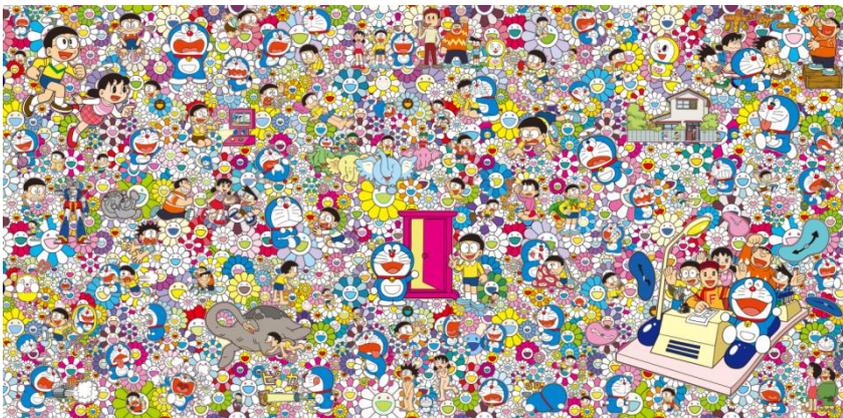
## 「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」 日本を代表するアーティストの展示作品を公開！

～前回展に参加した5組のアーティスト作品を紹介～

2017年11月1日（水）から2018年1月8日（月・祝）まで、六本木ヒルズ・森アートセンターギャラリーにて開催される「THE ドラえもん展 TOKYO 2017」。本展では、日本の現代美術を牽引するアーティスト28組が参加し、ドラえもんと現代アートの競演が実現します。本展は、ドラえもんを通じて現代アートの“いま”を切り取る展覧会と言えるでしょう。

そのような注目の展覧会開催に先立ち、展覧会をより楽しんでいただけるよう、「THE ドラえもん展 TOKYO 2017 ヘッドライン」と題して最新情報をお届けしております。Vol.4となる今回は、2002年に行われた「THE ドラえもん展」に続き今回も参加する、日本を代表するアーティスト5組の作品をご紹介します。本展覧会では、前回参加したアーティストの作品は、2002年の作品も併せて展示されます。2002年から2017年。現代アートの進化をお楽しみいただける内容となっています。

### <村上隆さん／アーティスト> 作品タイトル：『あんなこといいな 出来たらいいな』



『あんなこといいな 出来たらいいな』  
©2017 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co.,Ltd.All Rights Reserved.  
©Fujiko-Pro



前回展作品『ぼくと弟とドラえもんの夏休み』（2002年）  
©Fujiko-pro & Takashi Murakami / Kaikai Kiki 2002

村上さんは自身の代表作「お花」と「ドラえもん」を合わせた、6m×3mの巨大な作品を制作。本展のメインビジュアルである今回の作品は、村上さんが、「ドラえもんの作品の中で、一番大切なものはなんだろう、と考えた時、“藤子先生（藤子・F・不二雄先生）”ご本人だということに気づき、絵に入れた」と言います。描かれたキャラクターは、漫画を中心とした数々の名シーンが随所にちりばめられており、ドラえもんのファンはもちろん、たくさんの方にお楽しみいただける作品です。

# THE ドラちゃん展 TOKYO 2017

## <奈良美智さん／画家>

作品タイトル：『依然としてジャイアンにリボンを取られたままのドラミちゃん@真夜中』



©YOSHITOMO NARA 2017 ©Fujiko-Pro

『依然としてジャイアンにリボンを取られたままのドラミちゃん@真夜中』 ©YOSHITOMO NARA 2017 ©Fujiko-Pro



前回展作品『ジャイアンにリボンをとられたドラミちゃん』 ©Fujiko-Pro & Yoshitomo Nara 2002

奈良さんは、前回と同様にドラミちゃんをモチーフとした作品を制作しました。奈良さんの個性溢れるドラミちゃんを前回作と一緒に楽しみください。

## <蜷川実花さん／写真家、映画監督> 作品タイトル：『ドラちゃん 1日デートの巻 2017』



『ドラちゃん 1日デートの巻 2017』 ©mika ninagawa ©Fujiko-Pro



前回展作品『ドラちゃんと1日デートの巻』 ©Fujiko-Pro & mika ninagawa 2002

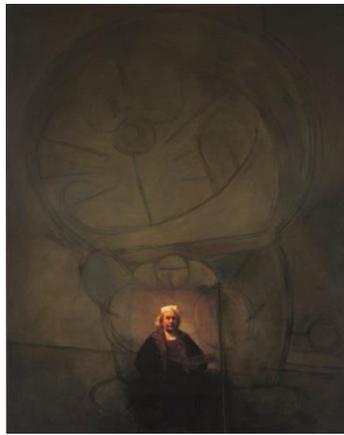
前回と同様に「ドラちゃん 1日デートの巻 2017」と題し、「もしドラちゃんが彼だったら」をテーマに作品を制作した蜷川さん。15年前と同じコンセプトで今やるならどうなるか、というところから生まれた今回の作品は、SNSで発信することの時代感を意識して制作されました。会期中には、写真の展示並行して、作品に登場する“デート相手”のInstagram専用アカウントから、作品写真を日々発信していく展示方法で“ドラちゃんとのデート”を表現します。

# THE ドラえもん展 TOKYO 2017

## <福田美蘭さん／画家> 作品タイトル：『波上群仙図』



『波上群仙図』  
©Miran Fukuda ©Fujiko-Pro



前回展作品『レンブラント - パレットを持つ自画像』  
©Fujiko-Pro & Miran Fukuda 2002

前回の、西洋美術を引用した作品と対になる様に、今回は東洋美術から引用した福田さんの作品。古代中国で誕生した「仙人」が波の上を渡っていく姿に、ドラえもんがタケコプターで波の上を飛んでいる姿が重なって見える、<sup>ダブルイメージ</sup>二重映像の手法で制作しています。不思議な術を使う仙人は、ファンタスティックな夢のある世界の登場人物であり、その奇想天外な説話の中の常識にとらわれない発想は、そのまま時空を越えて、ドラえもんの世界につながっているというメッセージです。

## <森村泰昌さん／アーティスト + コイケジュンコさん／アーティスト>

### 作品タイトル：『時（ルビ：とき）を駆けるドラス』



森村 泰昌 + コイケジュンコ『時（ルビ：とき）を駆けるドラス』  
©Ji-Ku-Mo-Ko プロジェクト(森村泰昌+コイケジュンコ) ©Fujiko-Pro



前回展作品『ドラス』  
©Fujiko-Pro & MORIMURA & THE MOHYAS 2002

森村さんは前回、ドラえもんをイメージしたドレスを作り、森村さんを形取った人形に着せるという驚きの作品を発表。今回はコイケジュンコさんとの共同制作で、原作マンガから生まれた紙のドレスをコイケさんが制作、森村さんがドレスを着用してドラえもんの世界を表現しています。